

ミズノユニオン中期活動方針

『基本理念』

ユニオンメンバーに実りある人生の実現をサポートする。

「ミズノユニオン新中期活動方針」策定にあたり

'92年に策定した「ミズノユニオン21世紀ビジョン」を総括して、新たな世紀を迎え、ミズノユニオンが目指すべき運動の方向性を確認し、'02年8月に「ミズノユニオン新中期活動方針」を策定しました。

【ユニオンメンバーを取り巻く環境】

- ◆社会
 - ・情報技術(IT)革新
 - ・少子高齢化社会
 - ・地球環境問題
 - ・個人の価値観の変化
 - ・男女共同参画社会
- ◆経済
 - ・グローバル化
 - ・規制緩和
 - ・景気低迷の長期化
 - ・時価主義会計の導入
- ◆労働
 - ・雇用形態の多様化
 - ・勤務形態の変化
 - ・賃金制度改革
 - ・成果、能力主義

①企業(経営)に対して

働きやすい魅力ある企業を目指す活動

ユニオンは、会社の健全な発展に向けて、会社と力を合わせて取組み、働きやすい職場環境・労働条件等を実現し、魅力ある企業を目指して取組んでいきます。

【企業(経営)への活動として】

- (1)経営のチェック・提言機能活動
- (2)経営情報の共有化への活動
- (3)豊かさを実感できる公正な賃金制度への活動
- (4)労働時間の短縮実現に向けた活動
- (5)公正な人事処遇制度の実現への活動
- (6)職場環境を改善するための活動
- (7)ユニオンの組織強化のための活動

①企業(経営)に対して
経済のグローバル化、情報技術(IT)革新、低成長社会など企業を取り巻く環境は今後ますます変化してきます。このような中、企業として生き残り、経営の基盤を強化するには、ミズノユニオンも諸課題に対して柔軟に、そして積極的に対応していかなければなりません。ユニオンメンバーの生活や雇用の安定は、会社の健全な発展がなければ守られません。そのためには、労使で信頼関係を保ちながら、経営に対してのチェック機能や提言活動を強化し、魅力ある企業の実現に向けて、労使合力で取組むことが必要です。

一方でユニオンメンバーが、企業(経営)に対して「ゆとりと豊かさ」を実感するには、会社が健全に発展することはもちろんですが、そこで働くための、働きやすい職場環境や労働条件等を実現することが重要となってきます。

このように働きやすい魅力ある企業の実現を目指し、ユニオンメンバーにとって「ゆとりと豊かさ」が実感できるように取組んでいきます。

【企業(経営)と個人(家庭)への活動として】

- (1)生涯生活を支える制度確立への活動
- (2)高齢化社会に向けた活動
- (3)多様化する福利厚生制度への活動

基本理念を具現化する3つの領域

ミズノユニオンは、ユニオンメンバーが「ゆとりと豊かさ」を実感できるように「企業」「個人」「地域・社会」の3つの領域をサポートしていきます。

【企業(経営)と地域・社会への活動として】

- (1)多様な地域・社会活動への参加支援活動
- (2)上部団体・他労組との対外活動
- (3)企業内では困難な問題解決のための政治活動

②個人(家庭)に対して

多様化する価値観に対応し魅力ある生活をサポートする活動

個人の多様化する価値観の変化に対して、個人として、そして家庭人として「ゆとりと豊かさ」を実感し、魅力ある生活が実現できるよう取組んでいきます。

【個人(家庭)への活動として】

- (1)ライフプラン実現のための活動
- (2)健康づくりを支援するための活動
- (3)家族や生活の支援のための活動
- (4)自己の能力開発のための活動
- (5)余暇情報や各種イベントへの活動

③地域・社会に対して

環境に配慮し社会に貢献する活動

地球環境問題に配慮して、地域や社会の一員として貢献し、「ゆとりと豊かさ」を実感出来るよう取組んでいきます。

【地域・社会への活動として】

- (1)男女共同参画社会の実現への活動
- (2)地域・社会へ貢献するためのボランティア活動
- (3)地域社会とのふれあい活動
- (4)環境に配慮した環境問題への取組み

②個人(家庭)に対して

これからは、個人の価値観が変化し、そしてますます多様化してきます。これは個人の自立意識が高まり、そして個人の選択の機会が増え、それぞれのライフスタイルにあったものを求める傾向が強まってきたためです。このような個人の多様化する価値観に対して、ユニオンも個人の能力を開発するための仕組みづくりや情報提供などの対応をしていかなければなりません。今後は、今まで以上に個人の人生設計や退職後の生活設計などが難しくなりますが、ユニオンとしてもより魅力ある生活の実現のために、それらを支援する取組みが必要になってきます。また個人だけではなく、家庭人としても家庭の生活基盤の強化に向け活動し、「ゆとりと豊かさ」を実感できるように取組んでいきます。

③地域・社会に対して

21世紀は、環境に対する問題も今まで以上に大きな問題となり、地球環境問題に対してユニオンメンバーも取組みが必要となってきます。環境と調和しながら資源循環型(リサイクル型)社会を目指して、ユニオンメンバーも地域・社会から孤立するのではなく、地域・社会の一員として、社会的役割と責任を認識し、そして貢献するよう取組みをしていかなければなりません。仕事・家庭だけではなく、地域・社会にも目を向けたバランスの取れた生活の実現が豊かな生活を営む上で重要であり、地域・社会に貢献してこそ、「ゆとりと豊かさ」が実感できるようになります。このように、これから重要な課題となる地球環境問題に配慮して、地域・社会の一員として地域や社会に貢献し、「ゆとりと豊かさ」を実感できるように取組んでいきます。